

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 12 日(2022.1.12)

【公開番号】特開 2019-213714(P2019-213714A)

【公開日】令和 1 年 12 月 19 日(2019.12.19)

【年通号数】公開・登録公報 2019-051

【出願番号】特願 2018-112801(P2018-112801)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 12 月 28 日(2021.12.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の取得条件の成立に基づいて判別情報を取得する判別情報取得手段と、
その判別情報取得手段によって取得された前記判別情報を用いて判別を実行する判別手段と、

その判別手段の判別結果が特定の判別結果になったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段と、を備えた遊技機において、

所定条件の成立に基づいて、遊技者に有利な第 1 状態を設定する第 1 状態設定手段と、
前記第 1 状態が設定された後で予め定められた第 1 回数の前記判別手段の判別に渡って連続して前記特定の判別結果とは異なる判別結果となったことに基づいて、前記第 1 状態よりも有利度合いが低い第 2 状態を設定する第 2 状態設定手段と、を備え、
前記第 1 状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第 1 回数未満の第 2 回数以下の回数の範囲と、前記第 2 回数よりも多い回数であって前記第 1 回数以下の回数の範囲とで、前記第 1 状態設定手段によって前記第 1 状態が設定される可能性が異なる構成であり、

30

前記遊技機は、

前記第 1 状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が前記第 2 回数以下の回数の範囲と、前記第 2 回数よりも多い回数であって前記第 1 回数以下の回数の範囲とで、少なくとも回数の範囲を遊技者に対して把握させることが可能な特定の演出態様を少なくとも含む特定演出を実行する手段を有し、

40

前記第 1 状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が前記第 2 回数以下の回数の範囲において所定の実行条件が成立したに基づいて、前記第 2 回数よりも多い回数であって前記第 1 回数以下の回数の範囲において前記第 1 状態設定手段によって前記第 1 状態が設定される期待度を示唆する演出を、前記第 2 回数以下の回数の範囲において実行可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、当たり遊技を実行するものがある。かかる遊技機の中には、例えば、遊技者にとって有利度合いが異なる複数の状態を設定可能に構成することにより遊技者の遊技に対する興趣向上を図っているものがある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

10

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、更なる興趣向上が求められている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、所定の取得条件の成立に基づいて判別情報を取得する判別情報取得手段と、その判別情報取得手段によって取得された前記判別情報を用いて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が特定の判別結果になったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段と、を備え、所定条件の成立に基づいて、遊技者に有利な第1状態を設定する第1状態設定手段と、前記第1状態が設定された後で予め定められた第1回数の前記判別手段の判別に渡って連続して前記特定の判別結果とは異なる判別結果となったことに基づいて、前記第1状態よりも有利度合いが低い第2状態を設定する第2状態設定手段と、を備え、前記第1状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第1回数未満の第2回数以下の回数の範囲と、前記第2回数よりも多い回数であって前記第1回数以下の回数の範囲とで、前記第1状態設定手段によって前記第1状態が設定される可能性が異なる構成であり、前記遊技機は、前記第1状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が前記第2回数以下の回数の範囲と、前記第2回数よりも多い回数であって前記第1回数以下の回数の範囲とで、少なくとも回数の範囲を遊技者に対して把握させることが可能な特定の演出態様を少なくとも含む特定演出を実行する手段を有し、前記第1状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が前記第2回数以下の回数の範囲において所定の実行条件が成立したことに基づいて、前記第2回数よりも多い回数であって前記第1回数以下の回数の範囲において前記第1状態設定手段によって前記第1状態が設定される期待度を示唆する演出を、前記第2回数以下の回数の範囲において実行可能である。

20

30

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項1記載の遊技機によれば、所定の取得条件の成立に基づいて判別情報を取得する判別情報取得手段と、その判別情報取得手段によって取得された前記判別情報を用いて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が特定の判別結果になったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段と、を備え、所定条件の成立に基づいて、遊技者に有利な第1状態を設定する第1状態設定手段と、前記第1状態が設定された後で予め定められた第1回数の前記判別手段の判別に渡って連続して前

40

50

記特定の判別結果とは異なる判別結果となったことに基づいて、前記第1状態よりも有利度合いが低い第2状態を設定する第2状態設定手段と、を備え、前記第1状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第1回数未満の第2回数以下の回数の範囲と、前記第2回数よりも多い回数であって前記第1回数以下の回数の範囲とで、前記第1状態設定手段によって前記第1状態が設定される可能性が異なる構成であり、前記遊技機は、前記第1状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が前記第2回数以下の回数の範囲と、前記第2回数よりも多い回数であって前記第1回数以下の回数の範囲とで、少なくとも回数の範囲を遊技者に対して把握させることが可能な特定の演出態様を少なくとも含む特定演出を実行する手段を有し、前記第1状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が前記第2回数以下の回数の範囲において所定の実行条件が成立したに基づいて、前記第2回数よりも多い回数であって前記第1回数以下の回数の範囲において前記第1状態設定手段によって前記第1状態が設定される期待度を示唆する演出を、前記第2回数以下の回数の範囲において実行可能である。

10

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】3030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【3030】

10	パチンコ機（遊技機）	20
64	第1入球口（第1入球手段）	
203a	特別図柄1保留球格納エリア（記憶手段）	
203a2	特別図柄2保留球格納エリア（記憶手段）	
6400	第2入球口（第2入球手段）	
6400a	電動役物（可変手段）	
6500	V入賞装置（第3入球手段）	
6500f1	開閉扉（第2可変手段）	
S215	第7実施形態における特典遊技実行手段の一部	
S221	可変遊技実行手段	
S303, S307	第7実施形態における判別手段	30
S237	第7実施形態における第2状態設定手段	
S706, S758	第7実施形態における判別情報取得手段	
S1622	第7実施形態における第1状態設定手段	
S1717	第7実施形態における特典遊技実行手段の一部	

40

50